

成田 由香子 (ナリタ ユカコ)

認定 NPO 法人 ACE (エース) 事務局次長／子ども支援事業チーフ

福島県出身。宇都宮大学国際学部国際社会学科卒業。インドのタタ社会科学研究所ソーシャルワーク修士課程修了、インド NGO でのフィールドワークを経験。労働組合 UI ゼンセン同盟（現 UA ゼンセン）国際局勤務、在印日本大使館での草の根・人間の安全保障無償資金協力外部委嘱員勤務を経て、2007 年 5 月より現職。インド・コットン産業での事業の立案・実施管理・ソーシャルビジネス推進、日本の子どもの権利に関する政策提言等を担当。労働・人権分野の国際規格「SA8000」社会監査人コース修了。保育士資格取得。現在、日本福祉大学福祉経営学部医療福祉・マネジメント学科在籍。



経歴・略歴

2000 年 3 月	国立宇都宮大学 国際学部 国際社会学科 卒業
2002 年 5 月	Tata Institute of Social Sciences(タタ社会科学研究所、インド・ムンバイ) ソーシャルワーク（家族・児童福祉専攻）修士課程修了。その間 Childline India Foundation、Saathi など現地 NGO での子ども権利保護に関わるフィールドワークを経験。2001 年インド西部グジャラート州大地震での被災地救援活動に参加。国際協力銀行(JBIC)ニューデリー駐在員事務所での短期インターンを経験。
2002 年 7 月 -2014 年	国際開発学会 会員
2002 年 10 月	トータル・カウンセリング・スクール カウンセラー養成講座初級コース修了
2002 年 10 月 -2005 年 2 月	UI ゼンセン同盟(全国繊維化学食品流通サービス一般労働組合同盟)国際局 勤務
2003 年 3 月 - 現在	NPO 働く子どもの『遺産と伝説』キャンペーン(OLAL)日本事務局を設立・運営に関わる
2003 年 4 月	第 52 回 日本労使関係研究協会 東京労働大学講座総合講座課程 修了
2003 年 10 月	第 8 回 国際労働財団(JILAF) 国際活動家養成コース 修了
2004 年	特定非営利活動法人 子ども権利センター(現 C-Rights) 運営員
2004 年 7 月	第 13 回 国際自由労連アジア・太平洋地域組織(ICFTU-APRO)/OTC Institute/国際労働財団(JILAF)上級指導者コース修了
2005 年 7 月～2007 年 3 月	在印日本大使館 草の根・人間の安全保障無償資金協力外部委嘱員として勤務
2007 年 5 月 - 現在	特定非営利活動法人 ACE に勤務
2014 年 1 月	保育士資格取得
2016 年 4 月	SA8000 Basic Auditing Training Course 修了

執筆・研究

執筆（書籍、出版物、記事）：

- 「国際開発ハンドブック—NGO のフィールドメソッド」 友松篤信編著（部分執筆）『ストリートチルドレン支援のネットワークング』、明石書店、2005 年
- ”Japan Calling”, ‘Eight Japan Aided Grassroots Projects Launched’, Embassy of Japan in India, January, 2006（英文）
- 「月刊オルタ」特集アジア発子どもたちの社会運動『主体性を回復する子どもたち』、アジア太平洋資料センター(PARC)、2006 年 7 月
- 「ふたり★おなじ星のうえで」 谷川俊太郎著、（一部執筆協力）、東京書籍、2007 年 4 月

研究：

- 学士論文 「インドの初等教育におけるノンフォーマル教育」、2000 年
- 修士研究論文 "Mental Health of Street Children", February, 2002. （英文）

講演テーマ

- ◇ コットン産業における児童労働と取り組み
（ワークショップ「このTシャツはどこからくるの？」も可能）
- ◇ ファッションと児童労働、企業と消費者の役割
- ◇ 子どもの人権と児童労働
（ワークショップ「感じてみよう働く子どもの気持ち」も可能）
- ◇ インドにおける児童労働
- ◇ 日本における児童労働
- ◇ 児童労働と教育
- ◇ 国際協力 NGO による現地プロジェクトの実施方法と現場
- ◇ 国際協力プロジェクトでのソーシャルワーク、子どもの権利アプローチ

掲載メディア

- 外務省ホームページ「ODA メールマガジン第 100 号」『インドの草の根活動』、2006 年 10 月

以上